

「災害時緊急対応交通誘導サポート隊 市職員 150人」結成!!

～12月1日からスタート～

地震及び集中豪雨や局地的大雨により、交通信号機が滅灯した場合の対策として、市職員150人による「交通誘導サポート隊」を結成しました。

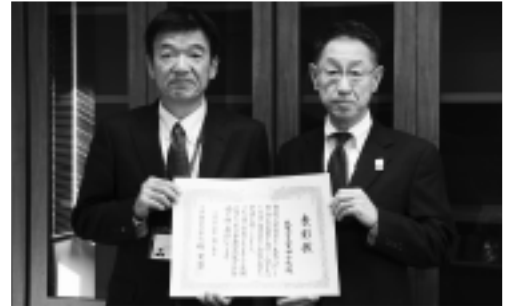
災害が発生した際、サポート隊員は、担当する主要な交差点(56か所)に立ち、滅灯時は歩行者や自転車の安全な誘導を行うと同時に、境警察署へ情報提供を行います。

大規模災害時には地域の自助共助がとても重要です。サポート隊と地域のみなさんとの連携について、ご理解とご協力をお願いします。

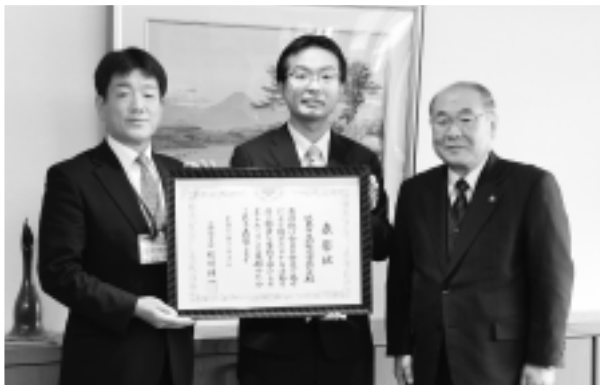
東中学校 日本会議茨城「教育奨励賞」受賞

東中学校(飯塚栄一校長)が道徳教育などで功績を積み上げたとして教育奨励賞を受賞し、11月9日、県神社庁で贈呈式が行われました。

日本会議茨城は、日本の伝統と文化を次世代に継承する運動を展開しており、東中学校は坂東市「五つの約束」をはじめ、基本的な生活習慣の定着や、集中して学習に取り組む姿勢を身に付けるなどの実践に取り組んできたことが認められました。



▲受賞を内桶教育長に報告する飯塚校長



▲市役所を訪問したP T Aの張替会長と田辺校長(12月19日)

内野山小P T A 文部科学大臣表彰

11月18日、内野山小学校P T Aが、優良P T A文部科学大臣表彰を受賞しました。

小さな学校のよさを生かし、長年にわたり保護者全員参加の活動を推進してきたことや、地域の特色を生かした行事や子どもたちの体験活動の実施、さらに地域が一体となって子どもたちを支え、見守る体制づくりを推進していることが認められたものです。

今後も「一致団結! 子どもたちの未来のために守ろう伝統 つなごう絆」をモットーにP T A活動に取り組んでいきます。

茨城県交通対策協議会長より表彰

11月18日、県庁にて、第52回茨城県交通安全県民大会が開催され、張替邦夫さん(内野山)が茨城県交通対策協議会長(茨城県知事)より表彰を受けました。

張替さんは、交通安全の推進に献身的、奉仕的に尽力し、交通事故防止への多大な功績が評価され今回の表彰となりました。



▲小学校の校門で、あいさつ・声かけ運動を行いました

あいさつ・声かけ運動

茨城県では、11月は「いばらき教育月間」に呼応して「あいさつ・声かけ運動」を推進しています。

同運動は、あいさつ、声かけを通じて地域のみなさんが顔見知りになることにより、青少年の見守りやコミュニティの形成につなげていくことを目的とするものです。

市では、各小中学校において、分館、市内高等学校、青少年育成団体と連携し、学校と地域が一体となり、942人のかたのご協力を得て「あいさつ運動」を行いました。